

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	法人として取り組んでいることは多いが、グループホームとしての独自の取り組みをしたい。	地域に向け行事への参加や地域の方が気軽に来訪できる場所にしたい。	夏祭りやイベントへの参加。また地域の方へ内覧会的なことを実施し、地域の方に気軽に来訪していただけるようにしたい。	12ヶ月
2	6	建物の地下にあり、また近隣が坂道が多く外出できる機会が少ないため、ご利用者が閉塞感を感じてしまう。	定期的な外出や、中庭を1日のうちできるだけ開放し自由に外に出られる空間を作る。	1日のうち定期的に外に出ていただく時間を作る。(1日の時間の中で開放時間を決める。)	12ヶ月
3	33	重度化や終末期に向けた取り組みを実施し、ご利用者ご家族様が住み慣れた場所で少しでも長く生活できるように取り組む必要がある。	勉強会の実施を行う。	勉強会の実施。またチーフや居室担当者に担当者会議の場所に出てもらい、意識を深めてもらう。	12ヶ月
4	35	災害対策を実施し、発生時の対応を学ぶ必要がある。	日中・夜間の避難について、マニュアルの作成を行い、その後訓練を実施したい。	マニュアルの作成。と移動の勉強会の実施。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。